

「もみじがり」日本で紅葉を見るベストな方法とは？

【目次(もくじ) Table of Contents】

- ①漢字にふりがなが無いもの
- ②漢字にふりがなが有るもの

①漢字にふりがなが無いもの

秋といえば、何を思い浮かべますか？

日本では、秋になると、だんだんと涼しくなります。夏の間、緑だった葉っぱが、ゆっくりと赤や黄色に変わっていきます。これを「紅葉(こうよう)」といいます。紅葉する木の中で一番有名なのは「紅葉(もみじ)」です。「紅葉(もみじ)」は、真っ赤になります。この紅葉という字は、「こうよう」とも読みますし、「もみじ」とも読みます。

そして、紅葉を見に、山へハイキングに出かけたり、ロープウェイに乗ったり、神社やお寺を訪れたりします。これを「紅葉狩り(もみじがり)」といいます。

私が皆さんにぜひ一度体験していただきたい紅葉狩りの方法があります。それは、川や池で船にのって、ゆったりと紅葉を眺めることです。なぜ、これがおすすめなのかというと、なんと、今からおよそ1000年前の平安時代の貴族たちが、同じように船に乗って紅葉を楽しんでいたからなんです。

平安時代、京都の嵐山というところに、皇族や貴族たちの別荘がありました。嵐山には、山と川と橋がそろっています。景色がとても美しい場所です。秋になると、緑の木の中に、すこしずつ、赤やオレンジ、黄色や茶色が増えてきます。その様子を、貴族たちは、川に船を浮

かべて、船から見て楽しんでいました。ゆったりと動く船に乗っていると、まるで大自然の中を自分が歩いているかのようです。また、船の上では、「紅葉(もみじ)」をテーマに、歌をよんだり、音楽を演奏したりしたそうです。

今でも京都の嵐山では、当時の貴族たちのように、川に船を浮かべて紅葉を見ることができます。1000年以上続くこの伝統を、ぜひ体験してみてくださいね。

しかし最近京都は観光客で大変混雑しています。なので、人が少ない場所に行くのもおすすめです。私のおすすめは、香川県の栗林公園(りつりんこうえん)や、青森県の十和田湖などです。こちらでも船に乗って紅葉を愛でることができます。他にもたくさんの場所があります。この動画の概要欄のリンクからぜひチェックしてみてくださいね。

②漢字にふりがなが有るもの

秋(あき)といえば、何(なに)を思い浮かべます(おもいうかべます)か？

日本(にほん)では、秋になると、だんだんと涼しく(すずしく)なります。夏(なつ)の間(あいだ)、緑(みどり)だった葉(は)っぱが、ゆっくりと赤(あか)や黄色(きいろ)に変わって(かわって)いきます。これを「紅葉(こうよう)」といいます。紅葉する木(き)の中(なか)で一番(いちばん)有名な(ゆうめいな)のは「紅葉(もみじ)」です。「紅葉(もみじ)」は、真っ赤(まっか)になります。この紅葉という字(じ)は、「こうよう」とも読みます(よみます)し、「もみじ」とも読みます。

そして、紅葉を見(み)に、山(やま)へハイキングに出かけた(でかけた)り、ロープウェイに乗った(のった)り、神社(じんじゃ)やお寺(てら)を訪れた(おとずれた)りします。これを「紅葉狩り(もみじがり)」といいます。

私(わたし)が皆(みな)さんにぜひ一度(いちど)体験して(たいけんして)いただきたい紅葉狩りの方法(ほうほう)があります。それは、川(かわ)や池(いけ)で船(ふね)にのって、ゆったりと紅葉を眺める(ながめる)ことです。なぜこれがおすすめなのかというと、なんと、今(いま)からおよそ1000年前(いっせんねんまえ or せんねんまえ)の平安(へいあん)時代(じだい)の貴族(きぞく)たちが、同じ(おなじ)ように船に乗って紅葉を楽しんで(たのしんで)いたからなんです。

平安時代、京都(きょうと)の嵐山(あらしやま)というところに、皇族(こうぞく)や貴族たちの別荘(べっそう)がありました。嵐山には、山と川と橋(はし)がそろっています。景色(けしき)がとても美しい(うつくしい)場所(ばしょ)です。秋になると、緑の木の中に、すこしずつ、赤やオレンジ、黄色や茶色(ちゃいろ)が増えて(ふえて)きます。その様子(ようす)を、貴族たちは、川に船を浮かべて、船から見て楽しんでいました。ゆったりと動く(うごく)船に乗っていると、まるで大自然(だいしぜん)の中(なか)を自分(じぶん)が歩いて(あるいて)いるかのようです。また、船の上では、「紅葉(もみじ)」をテーマに、歌(うた)をよんだり、音楽(おんがく)を演奏した(えんそうした)りしたそうです。

今でも京都の嵐山では、当時(とうじ)の貴族たちのように、川に船を浮かべて紅葉を見る

ことができます。1000年以上(いっせんねんいじょう or せんねんいじょう)続く(つづく)この伝統(でんとう)を、ぜひ体験して(たいけんして)みてくださいね。

しかし最近(さいきん)京都は観光客(かんこうきゃく)で大変(たいへん)混雑して(こんざつして)います。なので、人(ひと)が少ない(すくない)場所(ばしょ)に行く(いく)のもおすすめです。

私のおすすめは、香川県(かがわけん)の栗林公園(りつりんこうえん)や、青森県(あおもりけん)の十和田湖(とわだこ)などです。こちらでも船に乗って紅葉を愛でる(めでる)ことができます。他(ほか)にもたくさん場所があります。この動画(どうが)の概要欄(がいようらん)のリンクからぜひチェックしてみてくださいね。